

2020年5月11日

スズケンとの資本業務提携に関するお知らせ

当社は、2020年5月11日に株式会社スズケン（以下、「スズケン」といいます。）との間で、スズケンを割当先とする第三者割当増資の実施を含む業務提携契約を締結いたしました。

<当社の取り組み>

当社は、医療用アプリやブロックチェーンの医療応用についての各種特許を有するなど、技術に立脚しデジタル医療を推進する研究開発型企業です。不眠症治療用アプリを始めとする医療用アプリ開発、医療用アプリ開発の汎用プラットフォーム提供、臨床開発支援システム及びAI自動分析システムの提供・事業展開を行っております。

「医療用アプリ開発」においては、不眠症治療用アプリをはじめとするプログラム医療機器のシステム開発及び臨床開発を実施し、医療現場のアンメットニーズの解消に向けた新たな治療モダリティとしての医療用アプリの開発を行っております。また、当社自社製品の開発だけでなく、「医療用アプリ開発の汎用プラットフォームの提供」として、製薬企業等の企業のデジタル医療に対するプラットフォームの提供を行っております。

「臨床開発支援システム」の提供においては、製薬企業における治験・臨床研究における効率化支援のためのシステム提供を行っており、ブロックチェーン技術等を活用した治験・臨床研究の効率化を支援しております。

▶ ブロックチェーン技術の医療応用とは

当社では、データ改ざんが困難であるブロックチェーン技術を医療分野において利用することで、従来の方法よりもセキュリティレベルを向上させると同時に、費用対効果が高く、かつ正確性が担保されたデータ管理を実現するシステムを開発しており、複数の特許取得済みの技術を有しております。

また、当社は、ブロックチェーン技術の医療応用の一環として、生産性向上特別措置法に基づく新技術等実証制度（いわゆる「規制のサンドボックス制度」）の認定を2019年4月に受け、国立研究開発法人国立がん研究センターと共同で、ブロックチェーンを活用した臨床試験のモニタリングを実施し、モニターが医療機関を訪問し原資料と報告用資料の照合を行わなくとも、データの信頼性が担保されることの立証を進めております。

（参考：<https://www.meti.go.jp/press/2019/04/20190422007/20190422007.html>）

<業務提携の意義>

スズケンは、デジタル化に対応した医療情報プラットフォームの構築に向け、パートナー企業や外部企業との協業による新たなビジネスモデルの構築を目指されています。

これまで当社は、スズケンと共に、それぞれの経営資源を組み合わせることで、医療現場にどのような貢献ができるのか協議を進めてまいりました。スズケンの医薬品物流、治験薬物流及び治験向けのトレーサビリティシステムであるキュービックス®CTといった各種経営資源・事業と、当社が保有するデジタル医療開発技術やAI・医療分野におけるブロックチェーン技術を組み合わせることにより、新たな価値を創出し、医療現場の課題に対する新たな解決方法の提供が可能となるものと考えております。

今後、具体的なビジネスを推進していくためには両社の信頼関係をより強固なものとし、両社がこれまで積み重ねてきた知識やノウハウを相互に活用する必要があるとの認識に至り、第三者割当増資の実施を含む業務提携を行うことについて合意いたしました。

当社はスズケンとの業務提携の取り組みの中で、主に以下の4点について協議・推進して参ります。

- (1) スズケングループの治験薬物流やキュービックスCTと当社の臨床研究・治験管理システムの相互連携による新たな臨床研究・治験サービスの開発、展開
- (2) スズケングループのヘルスケア関連データと当社のブロックチェーン・自動分析技術を組み合わせた新たな協業・ビジネスモデルの構築
- (3) スズケングループおよび協業企業が保有する医療流通プラットフォームと当社が保有するブロックチェーンを活用したIoT医薬品流通プラットフォームの構築
- (4) 両社グループが保有する経営資源を活用したデジタルメディシンの販売・流通を行うプラットフォームの構築

<スズケンについて>

名称： 株式会社スズケン
所在地： 愛知県名古屋市東区東片端町8番地
代表者： 代表取締役社長 宮田浩美
事業内容： 医療用医薬品、試薬、医療用機器、医療材料、食品などの販売、ならびに医療用機器の開発製造
創立： 1932年
会社URL： <https://www.suzuken.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

サスメド株式会社
E-mail: support@susmed.co.jp

以上